

セアカゴケグモにご注意を！

平成20年4月24日、水島港（玉島地区）において、岡山県内で初めて、外来生物法で特定外来生物として指定されている「セアカゴケグモ」を発見・捕獲しました。

セアカゴケグモは、熱帯地方などに分布するクモで毒を持っています。

日本国内には生息していなかったクモですが、平成7年に大阪府の臨海部を中心とした地域で初めて発見され、その後、全国各地に分布が拡大しています。（平成27年9月時点で41都道府県で確認）

県内でも平成20年の初確認以降、各地で見つかっていますので注意してください。



○ 体の特徴

成体のメスは約10～15mmで、全体的に黒色又は濃い褐色です。

特に腹部の背の部分に赤色の帯状の模様があるのが特徴です。（一見してテントウムシのような印象を受けます。）

成体のオスは約3～5mmで、腹部の背の部分に白い斑紋があります。なお、毒をもっているのはメスだけです。

○ 生息場所

巣を作るために、日当たりが良く暖かいところ、昆虫などの餌が豊富なところ、適当な隙間があるところが必要です。

例えば

- ・ 花壇まわりのブロックのくぼみや穴
- ・ 排水溝の側面やふたの裏側
- ・ クーラーなどの室外機や自動販売機との壁のすきま
- ・ 墓地の花立てや線香立てなどの石のすきま …… などがあります。



○ 性格

セアカゴケグモは基本的におとなしい性格で攻撃的ではありません。

脅かされると死んだふりをして動かなくなります。ただ、「毒」を持っていますので、絶対に素手でさわらないように駆除してください。

素手でさわるとしない限り、特に咬まれることはありません。

○ 駆除方法

見つけたら、**市販の殺虫剤**をかけるか、**靴で踏みつぶして駆除**してください。

卵（卵囊：らんのおう：数百個の卵の入っているふくろ）は、しっかり踏みつぶすか焼却してください。（卵には殺虫剤の効果が薄いようです。）

また、発見した場合は最寄りの市町村役場又は岡山県自然環境課までご連絡ください。

○ 咬まれたときの対応

咬まれたときは針で刺されたような痛みを感じ、その後、咬まれたまわりが腫れ、熱くなり、時間の経過とともに全身に広がります。悪化すると、四肢の痛みや腹痛、けいれんなどが現れることもありますので、**病院で治療を受けることが必要**です。

（出来れば病院に、咬まれたクモを持参してください。適切な治療につながります。）

○ 対策

- ・外で作業するときは、手袋をしましょう
- ・不用意に側溝等の隙間に手を入れないようにしましょう。
- ・クモの生息しそうな場所は、こまめに清掃したり整理整頓したりして、クモの住みにくい環境づくりをしましょう。



○写真では大きく見えますが、実際はとても小さなクモです。

【問合せ先】

・岡山県環境文化部 自然環境課 ☎086-226-7309

・環境省中国四国地方環境事務所 野生生物課 ☎086-223-1561